



刈谷市の『国際化・多文化共生』かわら版

Vol.03 / FREE

# KARIYA GLOCAL LETTER

『刈谷市国際化・多文化共生推進計画』(H24.3策定)に掲げた3つの重点協働プロジェクトの取り組み状況を報告する広報紙

## 【学校ESDプロジェクト】～我ら地球市民!「いま」から「ここ」から「わたし」から始まる未来～出前授業 開催報告

ねん がつ かりやきたこうこう ちきゅうきほ かだい かんが せいとどうし たが いけん  
**2013年9～10月、刈谷北高校で、地球規模の課題を考え、生徒同士がお互いの意見を**  
 か で き かんが さんかがた こくさいりか いきょういく じゅぎょう おこな  
**交換し、出来ることを考える参加型の国際理解教育の授業が行われました!**



多文化共生を理解する活動『地球家族なりきり自己紹介』



世界の課題を知る活動『貧困問題の現状と課題』



アイデアを出し合う活動『問題を解決するための手立て』

- 「学校ESDプロジェクト」は、教育の場における計画のビジョンの一つである「すべての子どもが、地域や世界の共通の課題を共に考え、解決していくための力が育てられている」をめざして進めている刈谷市と刈谷北高校と NIED・国際理解教育センターの協働事業です。
- 本年度は、同校1年の国際理解コースの生徒を対象に、「自分と他者、社会、未来とのつながりや多文化共生の必要性を理解したり、世界が抱える課題の背景や原因をさぐり、解決のために必要なもの・役立つことを考え、自分たちが出来ることを行動につなげる」ことをねらひに、50分×2コマ×2回の出前授業を行いました。授業は、講義ではなくすべて参加型。例えば、「多文化共生を理解する活動」では、様々な国の家族の写真の主人公になりきって文化の多様性や心の同一性を感じたり、「世界の課題を知る活動」では、課題が書かれた複数の資料をグループで分担して読み解き、後からわかったことを伝え合ったり、「アイデアを出し合う活動」では、みんなで課題の原因を考え、原因を取り除くための方法を一人ひとりのアイデアからまとめたりして、内発的な気づきや主体性を大切に進めました。
- 授業後のアンケートでは、自分の意識や行動により良い変化はあったとする生徒は 75%で、具体的には、「自分と他者・地域・世界のつながりを意識するようになった」「開発途上国や国際協力に関する話題に興味や関心を持つようになった」「自分に出来る国際協力への取り組みに関心を持つようになった」ようです。最後に生徒がまとめた「私たちのアクション7箇条」の一つを紹介します(右図)。

### 持続可能な未来を創るための私たちのアクション7箇条

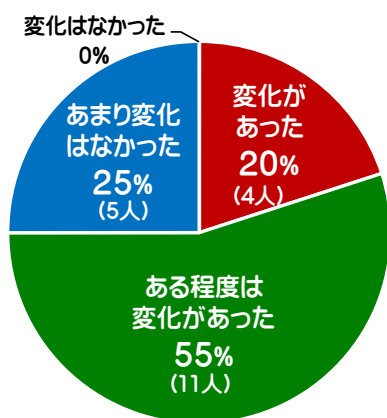
- ① みんなに知ってもらおう
- ② 貧富の差を考えない(平等だよ!)
- ③ 必要以上の食べ物を買わない!
- ④ 資源をムダにしない! 5R
- ⑤ 募金する
- ⑥ 自分と相手を比べない、みなさんです。(みんな違ってみんないい)
- ⑦ 未来を考えて行動する! ～暮らしやすい未来へ～

### 開催概要

- **日時:** 2013年9月25日(金) 14:25～16:16  
10月23日(金) 13:25～15:15
- **場所:** 愛知県立刈谷北高等学校図書室、会議室
- **参加者数:** 各20人(国際理解コース生徒)、教員延べ8人(見学)、刈谷市2人、NIED2人
- **第1回プログラム:**
  1. はじめに・講座のねらいの共有 14:25-[19]
  2. 知り合おう!～わたしとあなた 14:44-[29]
  3. 地球家族なりきり自己紹介 15:13-[12]
  4. 世界の同一性と多様性 15:35-[19]、休憩 10
  5. グループ替えと一言自己紹介 15:54-[3]
  6. グローバル化の恩恵と課題 15:57-[16]
  7. データから世界の課題を読み解く 16:13-[3]
- **第2回プログラム:**
  1. 今回のねらいと第1回のふりかえり 13:25-[8]
  2. 「環境問題」の現状と課題 13:33-[34]
  3. 「貧困問題」の現状と課題 14:07-[17]、休憩 10
  4. 環境問題・貧困問題の原因や背景 14:07-[13]
  5. 問題を解決するための手立て 14:47-[16]
  6. 私たちのアクション7箇条 15:03-[12]

### 出前授業後の生徒へのアンケート結果

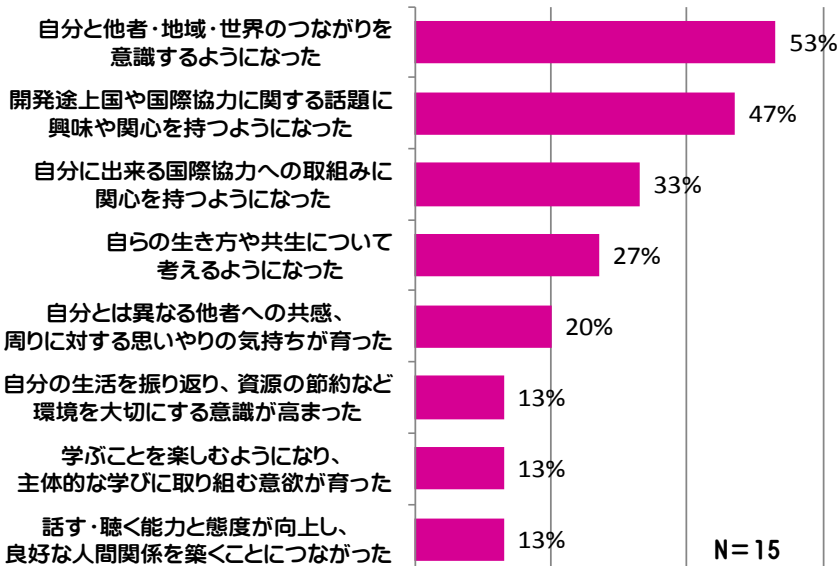
Q1 自分の意識や行動に、より良い変化はありましたか。



Q3 その他の自由意見・感想

- 「(ある程度)変化があった」とした生徒
  - ◇ 改めて多文化を理解することの大切さを感じた。世界ともしっかりつながりを深めることは簡単ではないけれど、自分自身でできることはたくさんあるから、進んで取り組んでいきたいと思った。
  - ◇ 私たち一人ひとりができることは小さいですが、それが集まれば大きな力になると思いました。そのためにフェアトレードやエコマーク表示のあるものを買うなど、いつも他の人、国のためにできることを考えて生活したいです。
  - ◇ なかなか難しいテーマで考えることが多かったけど、みんなでアイデアを出し合って答えを導くのが楽しかった。
- 「あまり変化がなかった」とした生徒
  - ◇ 今までも国際について考えたことがあったので、授業を受けたことで整理することができました。私は海外に住んでいたことがあり、環境や貧困については身近でした。
  - ◇ 自分には少し難しい課題だと思ったから、もう少し時間をかけていけば深く理解できたと思う。

Q2 どのようなより良い変化がありましたか。【複数回答】



※「GLOCAL」は、GLOBAL(地球規模)とLOCAL(地域的)を合わせた造語で、「地域における国際化・多文化共生」、「地球大に考え・地域で行動」という意味が込められています。



【学校ESDプロジェクト】～私とカナダと世界をつなぎ 持続可能な未来を拓く～(2012年度出前講座)の報告



ねん かりやきたこうこう 2012年、刈谷北高校は、カナダ・ミササガ市のスティーブン・ルイス校と姉妹校提携し、学校  
 こ う し ま い こ う て い け い が っ こ う  
 で ま え じ ゅ ぎ ょ う と お せ い と し ゅ たい し ま い こ う こ う り ゅ う む て い あ ん  
 ESD出前授業を通して、生徒主体による姉妹校との交流に向けた提案がなされました。

- 刈谷北高校は、県内でも数少ない国際理解コースがある学校で、その特性を強みにして、「プロジェクト年表」にあるように、刈谷市の「国際化・多文化共生推進計画の学校ESDプロジェクト」や「カナダ・ミササガ市との姉妹都市提携関係」と有機的に連携して、学校の国際化・多文化共生を進めてきました。
- 見出しにあるように、2012年は、その取り組みの元年ともいえる年でした。こうした背景から、学校ESDプロジェクトの出前授業の初年度は、「私とカナダと世界をつなぎ 持続可能な未来を拓く」と題して、刈谷北高校国際理解コース2年の生徒 28 人を対象に、「姉妹校交流について自分事として考え、姉妹校間での交流—協働—共生を考え提案するプロセスを通して「地球市民意識」を育むことを」をねらいに、50分×2コマ×3回の出前授業を行いました。3回のプログラムおよび生徒がまとめた提案は以下のとおりです。
- 受講後の生徒の感想では、「漠然としていた姉妹校のことがはっきりしてきた。できることをやりきり、後輩にも伝えていきたい。」「とても楽しかったので、10年後のビジョンまで今後もつなげていきたい。」などと、多くの気づきがあり、具体的行動につながる講座となりました。



第1回	第2回	第3回
9月14日(金) 13:25~15:17	9月21日(金) 13:25~15:15	9月28日(金) 13:25~15:29
1. 講座のねらいの共有 2. 同じところ/違うところ 3. クイズを通して知るカナダ 4. グローバル化による恩恵 5. グローバル化の影 6. もし課題が解決されなかったら 7. 先輩が作った姉妹都市交流提言 8. 姉妹校について知っていること/もっと知りたいこと	1. 第2回のねらいの確認 2. 第1回のふりかえり 3. カナダの「多文化主義」 4. 刈北高の知ってほしいこと 5. つながり広がり深め合う10年後の姿を想像する 6. 交流から共生へ！10年後のビジョン7か条づくり	1. 第3回のねらいの確認 2. 思いを実現するための三要素 ビジョン-プログラム-マネジメント 3. 第2回のふりかえり 4. 交流の10年ビジョンに到達するために1年半でできること 5. 提案内容の優先順位づけ 6. 「はじめの一歩」のために必要なものは!?

### ■ プロジェクト年表 ■

- 2010年度
  - ◇愛知県国際交流協会、刈谷市、刈谷北高校、NIED・国際理解教育センターの4者で、高校生による姉妹都市(カナダ・ミササガ市)交流のための教材づくり(全7回講座)を実施
- 2011年度
  - ◇刈谷市国際化・多文化共生推進計画の第1期重点協働プロジェクトに「学校ESDプロジェクト」を設定し、その可能性調査で、刈谷北高校に、連携・協働の打診・合意
- 2012年度
  - ◇刈谷北高校とカナダ・ミササガ市のスティーブン・ルイス校と姉妹校提携
  - ◇「学校ESDプロジェクト」第1弾として、高校生による持続可能な未来を拓く姉妹校プロジェクト提案づくり(全3回講座)を実施
- 2013年度
  - ◇刈谷北高校にESD担当教員を設置
  - ◇国際理解コースの1年生に、モデル的なESDの出前授業(全2回)を実施
- 2014年度(予定)
  - ◇国際理解コースの2年生にモデル的なESDの出前授業(全3回)を実施
- 2015年度以降(予定)
  - ◇ESD担当教員によるESDの授業の実施へ

### 姉妹校との交流に向けた提案内容(上位7位)

- 1位:語学力をUPする
- 2位:facebook、skypeで通信交流をアクティブ、ポジティブに実行する
- 3位:購買にカナダのモノを置く
- 4位:カナダ研修←→日本研修の実現
- 4位:刈北変革「システムを変える/魅力・自慢を増やす」
- 6位:国際理解コースの活性化、普通科との協働
- 7位:社会問題・グローバル・イシューについて学ぶ

### ■ 学校ESDプロジェクトの今後

- 刈谷北高校へのESD出前授業は、国際化・多文化共生推進計画の第1期の期限である2014年度までとし、2015年度以降は刈谷北高校が自前独自に行ないます。そのため出前授業にできるだけ多くの教員が見学するとともに、ESD担当教員を決め、出前講座の企画運営に関わりながらプログラムづくりやファシリテーションについて学んだり、同時に自分のクラスで、参加型のESD授業を行い、共に省察をすることでスキルを磨いています。
- また、2年間で授業を受けた生徒が、刈谷市国際プラザを活用する「地球市民拠点プロジェクト」など刈谷市の国際化・多文化共生のまちづくりに主体的に参加する機会づくりも進めていく予定です。